

2. 被害一般

今回の地震では3月25日の本震以来、震度5を上回る大きな余震が度重なり、広範な市町村に被害が発生した。本章では、主として建築・住宅に関連する被害の概況を示す。

2.1 各地の震度

(1) 本震

3月25日の本震について、気象庁が発表した諸元^{2.1)}を表-2.1に示す。本震で観測された各地の震度のうち、震度5弱以上の観測点^{2.1)}を表-2.2に示す。*印および**印は、それぞれ独立行政法人防災科学研究所および地方公共団体の震度観測点を示す。

表-2.1 本震の概要^{2.1)}

発震時	2007年3月25日 09時42分	
震央地名	能登半島沖	
マグニチュード	6.9	
震源	深さ	11 km
	北緯	37° 13.2'
	東経	136° 41.1'
最大震度	6強	

表-2.2 各地の震度（震度5弱以上）^{2.1)}

震度	観測地点	
6強	輪島市鳳至町、輪島市門前町走出**、穴水町大町*、七尾市田鶴浜町**	
6弱	輪島市河井町*、志賀町富来領家町、志賀町香能*、志賀町末吉千古**、中能登町末坂**、中能登町能登部下**、能登町宇出津、能登町松波*	
5強	七尾市本府中町、七尾市袖ヶ江町*、珠洲市正院町*	
5弱	石川県	珠洲市大谷町**、羽咋市柳田町、羽咋市旭町**、宝達志水町子浦**、中能登町井田**、能登町柳田**、かほく市浜北
	新潟県	新潟県刈羽村割町新田**
	富山県	富山市新桜町**、富山市婦中町笹倉**、滑川市寺家町**、舟橋村仏生寺**、氷見市加納**、小矢部市水牧**、射水市本町**、射水市戸破**、射水市加茂中部**

注、震度5強以上は全て石川県、無印：気象庁震度計

*：独立行政法人防災科学研究所 K-Net

**：地方公共団体の震度観測点

(2) 余震

本震以降4月17日までに、震度1以上を記録した余震は383回の余震が観測された^{2.1)}。このうち、主な余震の日時と各地の震度(4以上)を表-2.3^{2.1)}に示す。

表-2.3 主な余震とそれによる各地の震度^{2.1)}

①3月25日18:11(震源:石川県能登地方37°18.2'N, 136°50.3'E、深さ13km、M5.3)	
震度5弱	輪島市鳳至町, 穴水町大町*
震度4	七尾市田鶴浜町*、輪島市河井町*、輪島市門前町走出*、能登町宇出津、能都町松波
②3月26日14:46(震源:能登半島沖37°09.9'N, 136°33.1'E、深さ9km、M4.8)	
震度5弱	志賀町香能*
震度4	輪島市門前町走出*、志賀町富来領家町、穴水町大町*
③3月28日08:08(震源:石川県能登地方37°13.3'N, 136°42.5'E、深さ9km、M4.9)	
震度5弱	輪島市鳳至町,
震度4	輪島市河井町*、穴水町大町*

注、無印:気象庁震度観測点、*:地方公共団体又は独立行政法人防災科学研究所の震度観測点

2.2 各種災害対策法令等の適用

2.2.1 災害救助法等の適用

3月25日から石川県七尾市、輪島市、珠洲市、志賀町、中能登町、穴水町、能登町の3市4町に対し、災害救助法(昭和22年法律第118号)による救助を実施することが公示された。

2.2.2 被災者生活再建支援法の対象

平成19年4月2日付けで、平成19年能登半島地震による災害を被災者生活再建支援法(平成10年法律第66号)の対象となる自然災害とすることが公示された。

2.2.3 激甚災害の指定

平成19年4月20日付けで、平成19年能登半島地震による災害が「激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律」の適用となる災害として指定^{2.2)}された。対象地域は、石川県七尾市、輪島市、羽咋郡志賀町、鳳珠郡穴水町、鳳珠郡能登町の2市3町とされた。

2.3 人的被害

2.3.1 死傷者

石川県を中心に多数の死傷者(合計363人)が発生した。その自治体ごとの内訳は表-2.4の通りであるが、石川県の数値は石川県発表6/27現在^{2.3)}、石川県以外の数値は消防庁発表6/14現在^{2.4)}である。

表-2.4 平成19年（2007年）能登半島地震による死傷者

県	市町村	人的被害			
		死者	重傷者	軽傷者	合計
石川県	輪島市	1	44	69	114
	七尾市		17	110	127
	志賀町		4	41	45
	穴水町		3	36	39
	中能登町		3		3
	能登町		2	10	12
	珠洲市			3	3
	羽咋市			1	1
	津幡町			1	1
	石川県合計	1	73	271	345
富山県			1	12	13
新潟県			1	3	4
福井県			1		1
総計		1	76	286	363

注：石川県の数値は石川県発表 6/27 現在^{2.3)}、石川県以外の数値は消防庁発表 6/14 現在^{2.4)}

なお、富山県の重傷者は富山市、軽傷者は高岡市（6名）、魚津市（2名）、氷見市（1名）、小矢部市（1名）、射水市（2名）で発生し、新潟県の重傷者は十日町市、軽傷者は十日町市（1名）、糸魚川市（2名）で発生し、福井県の重傷者は福井市で発生している。

2.3.2 避難者

平成19年（2007年）能登半島地震による避難者は、地震当日から発生し、3月26日にピークを迎え、各自治体ごとに表-2.5に示す避難所数と人数となった。また、3月31日には9世帯13人に対し、避難勧告が出され、そして、5月3日には全て避難所は閉鎖された。なお、表-2.5には市町村の人的規模の参考とするため、世帯数を併記した。

表-2.5 平成 19 年（2007 年）能登半島地震による避難状況

市町村	世帯数	避難所数	避難者数
輪島市	12,026	26	2,214
七尾市	21,567	7	60
志賀町	7,919	6	198
穴水町	3,752	6	136
中能登町	6,120	1	3
能登町	7,725	1	13
合計	—	47	2,624

注：表中の市町村は全て石川県内、数値は石川県発表 6/27 現在^{2.3)}

2.4 建築・住宅に係る被害

平成 19 年能登半島地震による建築・住宅（住家及び非住家）の被害の状況は表-2.6 の通りである。表中の数値は石川県発表 6/27 現在^{2.3)}であるが、消防庁（6/14 現在）^{2.4)}によれば、新潟県糸魚川市内に一部損壊が 3 件ある。なお、地震による火災発生に関する情報は見あたらない。

表-2.6 平成 19 年（2007 年）能登半島地震による建築・住宅の被害

市町村	世帯数	建築物の被害			
		住家被害			非住家 被害
		全壊	半壊	一部損壊	
輪島市	12,026	499	1,029	7,658	2,814
穴水町	3,752	72	92	1,133	267
七尾市	21,567	50	238	2,262	333
志賀町	7,919	10	203	2,251	781
羽咋市	8,197	3	13	131	27
中能登町	6,120	3	6	158	13
能登町	7,725	1	10	190	18
珠洲市	6,488			158	23
かほく市	10,741	3	2	17	11
宝達志水町	4,661		3	21	1
加賀市	26,368			6	6
津幡町	11,303			2	1
金沢市	184,680				16
小松市	36,783				2
白山市	36,075				7
能美市	15,448				1
合計		641	1,596	13,987	4,321

注：表中の数値は石川県発表 6/27 現在^{2.3)}

2.5 危険度判定の状況

2.5.1 被災建築物の応急危険度判定の状況

地震当日から、3月30日までに、延べ391名の判定士を投入して、7,548棟を対象に実施された。石川県内における判定の内訳は表-2.7の通りである。なお、同表には、市町村の規模の目安として世帯数を示している。調査棟数のうち1,222棟（約16%）が危険判定、1,561棟（約21%）が要注意判定であったが、いずれも95%以上が木造に対するものであった。

なお、石川県以外の自治体においても被災建築物の応急危険度判定は実施された模様である。

表-2.7 平成19年能登半島地震による被災建築物の応急危険度判定実施状況

自治体	世帯数	調査数	危険（赤）				要注意（黄）				調査済（緑）				班数	判定士数	
			木造	RC造	鉄骨造	計	木造	RC造	鉄骨造	計	木造	RC造	鉄骨造	計			
輪島市	旧輪島市	9,883	3,767	241	5	5	251	364	3	16	383	2,936	40	157	3,133	44	88
	旧門前町	3,349	1,886	609	3	2	614	541	4	2	547	674	22	29	725	35	70
	輪島市計	13,232	5,653	850	8	7	865	905	7	18	930	3,610	62	186	3,858	79	158
穴水町	3,752	685	131	0	3	134	182	1	5	188	330	9	24	363	15	31	
能登町	7,725	14	0	0	0	0	8	0	0	8	6	0	0	6	1	2	
七尾市	21,567	1,075	178	1	4	183	354	4	10	368	497	16	11	524	65	182	
中能登町	6,120	18	11	0	0	11	4	0	0	4	3	0	0	3	9	18	
志賀町	7,919	86	24	1	0	25	56	0	1	57	3	1	0	4			
羽咋市	8,197	17	4	0	0	4	6	0	0	6	7	0	0	7			
計		7,548	1,198	10	14	1,222	1,515	12	34	1,561	4,456	88	221	4,765	169	391	

2.5.2 宅地の危険度判定

国土交通省^{2.5)}は、3月29日～30日に現地被災状況調査を目的として、都市・地域整備局都市計画課の宅地防災担当官1名及び独立行政法人都市再生機構の宅地専門技術者2名を派遣した。

富山県氷見市においては、被災宅地危険度判定を1箇所を実施し、被災状況について宅地所有者等に通知した。

石川県輪島市、志賀町、穴水町、能登町及び富山県富山市で、約百箇所の宅地擁壁の変状等が確認され、被災状況について宅地所有者等に通知した。

2.6 ライフラインの被害

ライフラインの被害のうち、電力、水道の被害^{2.6)}について表-2.8に示す。

表-2.8 電力、水道の被害状況

区分	管内	最大戸数	停止中の戸数
電力	北陸電力	約16万	0 (3/26 16:50 解消)
	中部電力	約200	0 (3/25 15:02 解消)
水道	富山県	38	0 (復旧済み)
	石川県	13,290	0 (4/7 8:00 復旧)

※原子力発電所（石川県（志賀）、新潟県（柏崎刈羽）、福井県（大飯、高浜、美浜、敦賀、もんじゅ、ふげん）、島根県（島根）、静岡県（浜岡））に関する被害はなし

【参考文献/参照サイト】

- 2.1) 気象庁「平成19年（2007年）能登半島地震」の特集，http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/2007_03_25_noto/index.html
- 2.2) 国土交通省，http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha07/05/050419_.html
- 2.3) 石川県消防防災Web，<http://www.bousai.pref.ishikawa.jp/top.asp>
- 2.4) 消防庁，平成19年（2007年）能登半島地震（第46報），<http://www.fdma.go.jp/detail/710.html>
- 2.5) 国土交通省，平成19年（2007年）能登半島地震について（第31報：最終報）
- 2.6) 内閣府，平成19年（2007年）能登半島地震について（第25報）